

地域の暮らしサポート実証事業 採択団体

団体名	事業のポイント
<p>さがえし 寒河江市 (山形県)</p>	<p>小学校廃校に伴う交流機能低下及び商店等撤退に伴う生活機能低下が課題で、豪雪・山間地域である白岩地区を中心に、住民生活支援事業(飲食・買物支援、克雪・克山サービス、交流促進)を展開。地域運営組織が主体となり、民間NPO、大学生等と連携して事業を実施する。</p>
<p>いしかわまち 石川町 (福島県)</p>	<p>買い物難民の増加、見守り機能低下が課題の中谷地区において、弁当販売・配食サービスのほか、高齢者等が調理しやすい冷凍食品の開発等に取り組む。自治協議会が主体となり、地域で立ち上げた食品加工所(食彩あすか)等と連携して事業を実施する。</p>
<p>ますだし 益田市 (島根県)</p>	<p>交流機能低下や地域内交通手段の不足が課題である安田地区において、石見津田駅施設や空き家をカフェ、産直市、食品加工施設等に利用するとともに、地域内交通を運行することで、地域内外の人々の交流、地域経済循環の促進を目指す。安田地域づくり協議会が主体となり、子育て協議会、社会福祉法人等と連携して事業を実施する。</p>
<p>つわのちょう 津和野町 (島根県)</p>	<p>見守り機能の低下、交通手段の不足、買物難民の増加が課題である津和野町において、道の駅に、「地域の暮らしサポートセンター」を設置し、コールセンター機能を持たせつつ、ITを活用した見守り、買物支援を実施。第3セクターの(株)津和野開発が主体となり、シャープ(株)やまちづくり委員会と連携して事業を実施する。</p>
<p>あまちょう 海士町 (島根県)</p>	<p>地域住民の生活に身近なパン屋や魚の行商販売が休廃業し、買物難民が増加しているとともにサービス産業の担い手不足が課題となっている海士町において、住民の生活必需品販売体制の整備を図るとともに持続可能な地域産品の島外販売サービス提供の構築に取り組む。観光協会及び地域商業機能組織(DMO)が主体となり、(株)離島キッチンや郵便局と連携して事業を実施する。</p>